

一般質問

金田 淳一 議員

スポーツ交流で島に賑わいを



質問 オリンピック東京開催が決定し、日本全体が喜びに沸いている。佐渡でもスポーツ交流が重要なテーマだ。施設が充実される中、合宿や大会の誘致策について問う。

市長 なかった件は、すぐに対応するように指示した。

市長 県や国の動きに合わせて考えている。

市長 合宿誘致補助事業制度があり昨年度は92団体、2030人、5059泊と伸びてきている。問題点は夏休みに集中し、観光客とバッテリーングすること。割安な宿泊施設を提供する必要がある。

質問 受入れ態勢がまずい。関東大学リーグの強豪であるが、今回は地元協会の支援で招致できたと聞く。県内中学生とも合流し、有意義であった。このような事例については、支援を継続して誘致を進めるべきでないか。

市長 観光協会と数値目標を挙げて取組むよう確認を取っている。

質問 専修大女子バドミントン部が1週間滞在したが、問題点はあったのか。

質問 誘致には旅費がかさむため厳しい。船賃は15人以上の団体割引がなく、学割がない。

市長 財団は資金面で裕福である。市体協活動に支援すれば公益化も有り得る。公益化すれば企業サイドも寄付を支出しやすいし、体協側も資金面の苦勞がずいぶん解消される。

観光振興課長 お盆のため宿が分散した。大量の練習シヤツの洗濯に時間が掛かりすぎた。食事の問題も指摘されている。

交通政策課長 佐渡汽船に継続して要望している。

社会教育課長 トライアスロンのチャリティー枠での収益をそれに充てる意向と聞いている。

社会教育課長 体育館借用にホームページから接続できないか。

社会教育課長 スポーツ以外の文化・芸能・学会などのコンベンション補助金を県や新潟市同様に導入する考えはないか。

社会教育課長 地域での活動が財団と一緒にあった時に、お互いに支援できるのではないかと話し合っている。

市長 県や国の動きに合わせて考えている。

市長 県や国の動きに合わせて考えている。

市長 県や国の動きに合わせて考えている。

一般質問

金子 克己 議員

行政財産使用は適正指導を



質問 教育財産事務所使用の団体での初歩的、怠慢による多額現金紛失に関連し、施設管理責任を果たすべきだが、何を根拠に今後とも調査も指導もしないのか。

市長 この組織において、目的外使用条例が適正に運用と管理がなされず、長年にわたり共益加算金等が徴収されない理由は、広い面積の一部使用では算出できないとは何ごとだ。ほかの類似団体との不公平をきたしてないか。

教育長 まず今回の件での不手際とご迷惑をお詫びする。5年間さかのぼり、使用申請書の提出と加算金等の納付を求めた。この組織で今後このような事件が再度発生したら、断固たる対応を取る。ご迷惑をおかけして大変申し訳なかった。

市長 この組織へのスポーツ基本法適用解釈は、解釈

以前の問題である。なぜなら、市施設利用団体に対し指導できないということはありえない。当然指導すべきで、今回の件は大いに反省すべきである。

高齢福祉課長 各報告書等の検査の精査不足で、大変申し訳なかった。実施内容、日時、参加人数、損害保険加入等の正確性と整合性を求め、現金事務処理は複数

また、この組織に介護予防教室事業が委託されているが、少なくとも24年度契約条項は本当に適正に遵守され、各実績報告書は正しい契約金請求報告書なのか。

目的外使用条例運用解釈は、平等に扱うこととは当然であり、この組織設立当時から手続きなしとは全く論外であり、すぐ対応を指示した。次に、介護予防委託事業の調査をした結果、記載に不明確な箇所が判明した。事業者は契約を一部遵守せず、結果的に私どもの調査が不十分であった。今後は断固たる対応をとり、提出した改善計画書の徹底した適性検査の実施と指導監督を強める。なお、再度委託契約事項に違反した時は、契約解除も含めて検討する。

この組織へのスポーツ基本法適用解釈は、解釈

一般質問

若者支援の強化と 船賃の学割導入を求める

山田 伸之 議員



【質問】 ニート・ひきこもりの就業支援を行う「地域若者サポートステーション」を設置して、若者が元気に活躍できる体制をつくるべき。

【市長】 三条地域の若者サポートステーションのサテライトとして、佐渡サテライトが8月に開設されたので、ここを中心にやってみよう。

【質問】 サポステの事業は、国が措置するもの、市が措置するものが明確に決められている。市が措置するものについては、当然予算をつけて支援すべき。

【産業振興課長】 今後予算や人的支援について、検討していく。

【質問】 来年4月両津―新潟港間にときわ丸が就航するにあたり、船の建造費として佐渡市が負担した分が運

賃値引きとして還元される。具体的な運賃体系はいつ決まるのか。

【市長】 今協議をしている段階で、11月末までには確定する。

【質問】 島内の子どもたちが、スポーツ大会や大学受験などで島外に出る際、いまだに大人料金で行かなければならない。実際運賃を払うのは親である。子育て支援策として、まだ決まっていない運賃体系の枠組みの中に学割を導入すべき。

【市長】 島内から島外へ出るというところで、運賃還元の手続きは可能である。検討したい。

【質問】 農業の担い手育成として、小学生に土づくりから収穫まで一貫した農業を学ばせる体制をつくるべき。

【市長】 食料を生産する農林

水産業を子どもたちが勉強することは、基本中の基本だと考えている。先生方と地域の人たちの意識にかかっている。



一般質問

佐渡病院の 周辺整備について問う

笠井 正信 議員



【質問】 病院移転、小学校移転、家屋の移転、水路改修、道路改良等が進んでいるが、バスロータリーの位置づけは。旧JAのガソリンスタンドに設けるなら、市の補助は必要ない。また、風雪に耐えられる待合室を設け、更にゲリラ豪雨に対応した水路を確保すべきではないか。

【市長】 バスロータリーは厚生連が旧JAのガソリンスタンドを整備し更に小学校跡地に駐車場を整備する。また、排水の問題は排水計画を策定し、関係機関と協議の上整備したい。

【質問】 観光の現状の課題について問う。観光不振と言われるが、現状と課題は。

【市長】 島全体のおもてなし、サービス不足、不十分な二次交通、航路運賃の高さ、着地型観光の対応の遅れが要因であり、具体的に分析しリピーター率の向上に努めたい。

【質問】 介護施設の待機者の実態及び在宅介護の実態を問う。旧後山小学校の活用は介護施設と聞くが、在宅介護の社会的バックアップ体制として十分に機能しているか。

【市長】 特養の待機者は48人であり、今後の整備計画として大浦の里ミニ特養20床、ショートステイ9床を併設した施設を建設中で、旧後山小学校にミニ特養、小規模多機能型居宅介護、認知症対応型通所介護、複合型施設の整備計画を進めている。

【質問】 ハザードマップはできていますか。

【市長】 県の津波浸水想定に誤りがあり中断したが、今年度末に予定されている。

【質問】 市長の言う2S3Kを市民に周知しているか。

【市長】 タウンミーティング等で話をしている。

【質問】 庁内でお仕事改善プラン事業に取り組む。

内の共有、業務の効率化、サービス向上等の事例発表会を開催しているが、課の職場風土を見極め若い職員の意欲を引出すべきではないか。



佐渡総合病院前

一般質問

佐渡空港2000メートル化は国防上国にも求めよ

加賀 博昭 議員



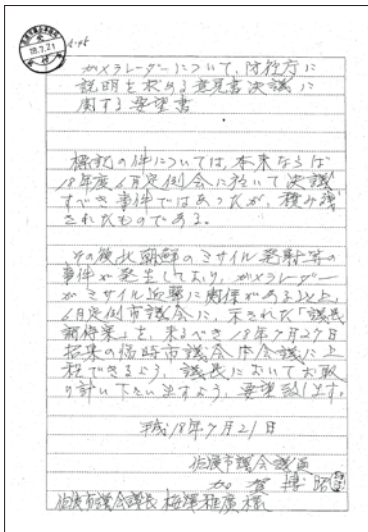
【質問】 さるる7月17日、小野寺防衛大臣がガメラレーダーを視察、「北朝鮮によるミサイル発射等、領土、領空、領海を守る防衛大綱の見直しを図る」と隊員に説明。8月28日には、ブルネイでアメリカのヘーゲル国防長官と、北朝鮮のミサイル基地の攻撃を日本が担当できないか10月予定の「日米防衛協力再改定協議」で議論することと合意したと新聞が伝えている。日本のアメリカ基地を守るために日本が武力行使できないかという危険な話だ。妙見山のガメラレーダーは日本列島の情報戦の最前線にある。幸い私の提起で平成18年7月27日に佐渡

市議会は当時の防衛庁に「ガメラレーダーのリスクの全容と佐渡の意向の尊重を求める。」との意見書決議を上げています。防衛省に対し、島民の安全のために「国民保護法」に基づき、空港2000メートルを求めるとはできる。

【市長】 ガメラの話について、平成18年7月27日の要望書等の検討があったことを承知していません。いっつ急変するかわからない北朝鮮情勢を含め、佐渡は国防上の重要な拠点、島民の安全を求めて佐渡空港拡張を国にも求めていく。

【質問】 国保税の滞納実態を24年と25年で比較すると、市長が徴収改善をすると約束したにもかかわらず、67万3000円増えている。徴収体制に検討が必要だ。

【市長】 徴収について色々指摘を受けて検討してきたが、成果が上がっていない。国保税の徴収を国保担当課が進めるべきだとの指摘を受けて、来年度以降の組織及び業務体制の見直しを検討していきたい。



平成18年7月21日の受付印のある「意見書決議」の要望書

意見書の提出について
地方自治法第99条の規程による別紙意見書を佐渡市議会会議規則第14条の規程により提出する。
平成18年7月27日 発議案第13号

提出者	佐渡市議会議員	竹内 道樹	道樹 彦男
賛成者	若林 進	猪俣 文彦	猪俣 文彦
		猪俣 文彦	猪俣 文彦
		猪俣 文彦	猪俣 文彦
		猪俣 文彦	猪俣 文彦

固定式地上設置型レーダー「FPS-XX」配備に関する意見書
北朝鮮による無軌道なミサイル発射は、我が国に重大な脅威を与え、佐渡市民に極めて深刻な不安を覚させた。
折しも、防衛庁は弾道ミサイル探知・追跡機能を備えた新型レーダー「FPS-XX」(この佐渡市を初め全国4箇所に順次配備する計画)しているが、佐渡市民に対する同レーダーの配備に関する詳細説明が未だなされていない。
よって、政府におかれては、防衛庁「FPS-XX」の概要及び配備計画を初めとした関連情報の詳細説明と、配備による住民リスクを包含した国民保護の全容を速やかに佐渡市に開示するとともに、地元の意向を最大限尊重されるよう強く要望する。

国保本算定の臨時議会で発議された「発議案第13号」の意見書決議

一般質問

甲斐市政のガバナンスに問題あり

大澤 祐治郎 議員



【質問】 庁舎建設については、市長は「古屋の造作」で現庁舎を増築する方針であるが、新市建設計画等特別委員会というハードルを越えて、議会の承認を得なければならぬが、

【市長】 私は、合併協定書をベースにすべきだと思っている。その点は理解していただきたい。現在は、あくまでも案をつくっている段階なので、特別委員会等において議会の考えを聞かせていただき、私のやり方が間違っている、この場所とは違うというのであれば、変えることもやぶさかでない。

【質問】 中央図書館の必要性について、市長はどう考えているのか。

【市長】 私は、合併協定書をベースにすべきだと思っている。その点は理解していただきたい。現在は、あくまでも案をつくっている段階なので、特別委員会等において議会の考えを聞かせていただき、私のやり方が間違っている、この場所とは違うというのであれば、変えることもやぶさかでない。

【質問】 本庁舎建設に合わせ、その1階に中央図書館を入れる案があると側聞するが本当か。そうすると、実際にいくら事業費が必要なのか。

【市長】 今回の中央図書館が、救急車が頻繁に出入りする病院の横に位置していることについては、私はおかしな段階なので、特別委員会等において議会の考えを聞かせていただき、私のやり方が間違っている、この場所とは違うというのであれば、変えることもやぶさかでない。

【市長】 相川の海沿いの広大な埋立地に水族館を建設すれば、各種施設が集まっていることから、効率的に運用できる。一考に値するのではないかと。

【質問】 中央図書館の必要性について、市長はどう考えているのか。

【市長】 私は、合併協定書をベースにすべきだと思っている。その点は理解していただきたい。現在は、あくまでも案をつくっている段階なので、特別委員会等において議会の考えを聞かせていただき、私のやり方が間違っている、この場所とは違うというのであれば、変えることもやぶさかでない。

【市長】 佐渡への入り口の新潟と上越に大きな水族館が既に存在している。また、その利用者はほとんど地元の方が中心で、観光客はそれほど入っていない。そういう視点から考えると、本当に観光客を導けるかどうか、PFIに應ずる企業があるかどうか疑問である。は考えていない。

【質問】 中央図書館の必要性について、市長はどう考えているのか。

【市長】 私は、合併協定書をベースにすべきだと思っている。その点は理解していただきたい。現在は、あくまでも案をつくっている段階なので、特別委員会等において議会の考えを聞かせていただき、私のやり方が間違っている、この場所とは違うというのであれば、変えることもやぶさかでない。

【市長】 佐渡への入り口の新潟と上越に大きな水族館が既に存在している。また、その利用者はほとんど地元の方が中心で、観光客はそれほど入っていない。そういう視点から考えると、本当に観光客を導けるかどうか、PFIに應ずる企業があるかどうか疑問である。は考えていない。

【質問】 中央図書館の必要性について、市長はどう考えているのか。

【市長】 私は、合併協定書をベースにすべきだと思っている。その点は理解していただきたい。現在は、あくまでも案をつくっている段階なので、特別委員会等において議会の考えを聞かせていただき、私のやり方が間違っている、この場所とは違うというのであれば、変えることもやぶさかでない。

【市長】 佐渡への入り口の新潟と上越に大きな水族館が既に存在している。また、その利用者はほとんど地元の方が中心で、観光客はそれほど入っていない。そういう視点から考えると、本当に観光客を導けるかどうか、PFIに應ずる企業があるかどうか疑問である。は考えていない。

【質問】 中央図書館の必要性について、市長はどう考えているのか。

【市長】 私は、合併協定書をベースにすべきだと思っている。その点は理解していただきたい。現在は、あくまでも案をつくっている段階なので、特別委員会等において議会の考えを聞かせていただき、私のやり方が間違っている、この場所とは違うというのであれば、変えることもやぶさかでない。

【市長】 佐渡への入り口の新潟と上越に大きな水族館が既に存在している。また、その利用者はほとんど地元の方が中心で、観光客はそれほど入っていない。そういう視点から考えると、本当に観光客を導けるかどうか、PFIに應ずる企業があるかどうか疑問である。は考えていない。

一般質問

村川 四郎 議員

「日本一の島づくり」は理解されているのか



【質問】 施政方針の「日本一愛され、選んでもらえる島づくり」について、1・標語の意図する日本一への具体的な目標、根拠があるのか。2・日本一への到達目標年度はいつか。3・各職員は、目標を理解し、取り組んでいるのか。4・職員のための取組み策は何か。

「愛され、選んでもらえる島」という標語を考えた。職員には、2S3Kで、スピードとサービスが絶対に必要だから、それを守れと言っている。20年〜30年間も言われ続けてきて守られていないところから直していかないと、どんな偉いことを言っても良くなるわけがない。それをやっていくためにこの市訓を考えた。市民の皆さんが志を高く持つて、みんなで一つずつ解決をしていくもので、達成年度はなく永遠の課題だ。

【質問】 一体型の観光とは、高い目標に取り組みのではなくて、道路の除草や清掃、街中の美化、清潔な公衆トイレと洋式の併設。海岸や漁場の競り見学なども大事な観光スポットとなる。また、明るく元気なお年寄りの笑顔のためにも、積極的な認知症予防対策を進めることも愛される島の要因となるのではないか。

【市長】 佐渡観光の欠点はリーダー率が低いこと、その要因は①佐渡市民全ての人達にウエルカムの精神と姿勢が見えない。②もてなしの心が弱い。③エージェンツ依存の旧態依然の観光誘客策。④船代金が高い。この4点を改善したい。企業誘致は、困難な状況なので市民のウエルカムの気持ちと佐渡産物に付加価値をつけ本土の人に買ってもらうため「日本一お客様に愛

一般質問

大森 幸平 議員

知らなかった制度変更 入札制度これでいいのか



【質問】 地域保全型一般入札の変更は「入札方法の変更について」という連絡があるまでその内容を知らない業者が大半であった。本当に業界団体の総意であったのか。

は件数が少なく、期待された不均衡は正の効果がない。薄いと、今年度からこの300万円を1500万未満に改正をした。各地区の建設業組合あるいは新潟県建設業協会佐渡支部の名前で要望書が出されてきているものであり、当然この機関の意思であると捉えている。

第1点に人口減少をどう食い止めるか。第2点は、人口減少に伴って経済規模が縮小する。つまり地域内の購買力が低下するが、その購買力が低下した額をどこでどうやって埋めるか。第3点は、人材の問題である。

【市長】 この制度は、建設業の地域貢献の取組みを促し、受注機会の確保により地域産業の活用を図ることを目的として、平成22年から開始し現在に至っている。

【質問】 地方交付税は地域固有の財源であり国が一方的に変更するものでなく規定に基づいて交付すべきものである。平成31年度の一本算定により、約70億円削減されると推定されているが、佐渡市をどう発展させていくのか。

その中心がキャリア教育だ。それに付随するものとして高齢者、障害対策、特に高齢者の生産活動に向けて働き方の仕組みづくりをやっていく。もう一つは妊娠期から青年期までのライフステージに応じた支援体制の強化を佐渡市全体として取り組む。

【契約管理主幹】 開始時は両津、相川、国仲、南部の4ブロックであった。平成23年度からは300万円未満の工事について旧市町村ごとに入札・発注することとした。130万から300万未満の入札にかかる工事

地方交付税は地域固有の財源である。国が一方的に削減することは、地方の自主財源を侵害するものである。

地方交付税は地域固有の財源である。国が一方的に削減することは、地方の自主財源を侵害するものである。